

御挨拶

豊かな自然や温かな雰囲気にもまれた呉市立明徳中学校は、全校生徒38名（1年生14名，2年生7名，3年生17名）で、令和7年度のスタートを切りました。

さて、急激に変化し、「予測不能」と言われる今の社会の中では、お互いがもつ様々な価値観を互いに知り、対話をしながら、よりよいものを創り上げていくことが必要不可欠です。それを踏まえ、本校では、学校教育目標を「**自ら学び ともに伸びる**」とし、教育活動を推進しています。その中で、大切にしたいことが二つあります。

一つ目は、「トライ」です。課題の解決について「見通す」、自分で考え、協働して「やってみる」、自分の学びを「振り返る」。授業や生活の中で、自分のやりたいこと、やらなければならないことに、この過程で、失敗を恐れずトライする生徒、それに伴走する教職員の姿を目指します。

二つ目は、「対話」です。目的をもって自分から働きかけて話をきく、そして、相手の立場に立って伝えるのが、対話です。そのときに、大切にしたいのが、「**ありがとう。**」「**いいね。**」「**うのみにしない。**」「**ええ方法を考えよう。**」「『**おやっ？**』で止めない。」の五つです。相手を思いやり、対話しながら、高め合う学校を目指します。

このような学びの基盤は、安心・安全な環境です。全ての生徒が、「幸せ」だと感じ、大きく成長できる学校づくりに向け、教職員が一致団結し、日々の教育活動を行って参ります。

御支援・御指導の程、よろしくお願いいたします。

令和7年4月 呉市立明徳中学校長 荒森 圭子